

相模原市、城山町、藤野町の合併による 合併まちづくり計画（概要）

この計画は、相模原市・藤野町合併基本計画と相模原市・城山町合併基本計画（素案）を集約し、相模原市と城山町、藤野町の1市2町が合併した場合のまちづくり計画としてまとめたものです。なお、相模原市・城山町合併基本計画（素案）については、5月22日まで住民の皆様のご意見を募集していますので、この合併まちづくり計画を参考に、ご意見をお寄せ下さい。詳しくは、5面をご覧ください。

位置と面積

位置図



面積

区分	相模原市	城山町	藤野町	合計	神奈川県
面積 (k㎡)	244.03	19.90	64.91	328.84	2,415.85
面積比 (%)	74.2	6.1	19.7	100.0	-

まちづくりの基本方針

1 地域の将来像

本地域はさがみ縦貫道路や津久井広域道路の整備により、広域的な交流拠点としての更なる発展の可能性が高まっていることから、東部においては様々な交流・活動の場となる中心市街地の活性化を図るとともに新しい拠点づくりに努め、西部においては地域特性を生かした観光や芸術などを通じてやすらぎと憩いの場を提供していくことが必要です。

このため、広域交流拠点としての機能の充実を図りつつ、水源地域を保全・活用し、豊かな自然環境と共生した都市基盤の整備や産業の振興を推進することにより、自然と産業が共存する活力ある地域として更に自立した都市づくりを進めるとともに、住民一人ひとりが主体となり、将来にわたって安心して質の高い市民生活を実現できるまちづくりを目指します。

『自然と産業が調和し 人と人がふれあう 活力ある自立分権都市 相模原』

～森が育む水の力 水がそだてるまちの力
まちにいきづく人の力 地域の力と魅力を活かしたまちづくり～

2 まちづくりの考え方

地方分権時代にふさわしい新市を創っていくためには、合併による行政区域の拡大に伴い、地域に根ざしたきめ細かなまちづくりを進めることが今まで以上に必要となりますが、都市を経営するという視点に立って、協働と分権によるまちづくりを進めるとともに、効率的・効果的な行財政運営を推進することが不可欠です。

このため、市民一人ひとりが主体的にまちづくりに関わることによって、地域コミュニティやまちづくりを担う多様な主体の活性化を図り、都市内分権を進めることが重要です。また、市政の計画・実施・評価のすべての段階における市民参加を促進し、市民のニーズが的確に反映された、市民の満足度を高める施策の展開が求められます。さらに、民間活力の積極的な導入やIT化の推進、事務事業や組織体制の見直しなど、最少の経費で最大効果のサービスを提供していく必要があります。

3 将来都市構造

各市町の持つ地域特性を活かし、今まで進められてきたまちづくりの経緯を踏まえ、地域における様々な活動や交流の場としての拠点の形成や、拠点間の連携を図るネットワークの形成を進めることとします。また、このことにより、より一層活力ある地域として多核・多拠点型の都市づくりを目指します。

(1) 中心市街地としての都市の核
橋本、相模原、相模大野の各駅周辺地域については、都市の核であり、中心市街地として商業、業務、文化などの都市機能の集積が図られています。今後とも、相互の連携を図りながら交流・都市活動の場となる各拠点とも連携し、中枢業務やコンベンション機能などの高次都市機能の集積をより一層進め、魅力の向上を進めることとします。

(2) 多様な拠点
多種多様な拠点の整備を進めるとともに、それぞれの拠点の有機的なネットワーク化を図り、各拠点の連携、相互補完による地域の一体性の強化を目指します。
新たなまちづくりの拠点 麻溝台・新磯野地区、当麻地区
新たな産業の拠点 大島・小倉地区、串川地区、内郷地区
観光交流拠点 相模湖周辺
自然ふれあい拠点 奥相模湖、宮ヶ瀬湖、木もれびの森
芸術と憩いの拠点 名倉、牧野地区

(3) 交流を支える都市軸とゾーン
地域の一体性の強化と均衡ある発展のため、都市構造上の骨格となる都市軸の形成を目指します。

また、都市的な土地利用の進む相模原地域は「くらしとにぎわいのゾーン」、水源地域を抱える豊かな自然環境を持つ津久井地域は「うるおいとこいのゾーン」として位置付け、それぞれの特性を生かした多核・多拠点型の都市構造の形成を目指します。

- 交通軸
 - ア 広域交通網の充実
 - さがみ縦貫道路や国道などの整備促進、リニア中央新幹線の駅の誘致、小田急多摩線や京王相模原線の延伸の促進
 - イ 市民生活に密着した交通網の充実
 - 幹線道路網の充実（津久井広域道路・都市計画道路の整備、（仮称）下九沢大島線の具体化）
 - 公共交通網の充実（バスネットワークの強化、新しい交通システムの検討）
- みずの軸 相模川、道志川
- みどりの軸 横山丘陵、相模川沿いの斜面緑地
- 「水源の森」ゾーン 丹沢大山国定公園
- みずとみどりのレクリエーションゾーン 相模川・道志川の流域、城山湖・津久井湖・相模湖の周辺、宮ヶ瀬湖から城山にかけての地域、県立陣馬相模湖自然公園周辺

将来人口の見通し

将来人口の推計：単位（人）

区分	平成17年 (2005年)			平成22年 (2010年)			平成27年 (2015年)			
	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	
地域合計 (1市2町)	697,586	711,379	717,985	663,464	678,030	685,625	663,464	678,030	685,625	
年少人口	98,756 (14.1%)	96,883 (13.6%)	91,840 (12.8%)	94,253	92,668	87,894	94,253	92,668	87,894	
	生産年齢人口	499,311 (71.6%)	481,777 (67.7%)	462,551 (64.4%)	475,540	459,990	443,064	475,540	459,990	443,064
	老年人口	99,469 (14.3%)	132,719 (18.7%)	163,594 (22.8%)	93,634	125,372	154,667	93,634	125,372	154,667
相模原市	663,464	678,030	685,625	663,464	678,030	685,625	663,464	678,030	685,625	
	年少人口	3,230	3,264	3,179	3,230	3,264	3,179	3,230	3,264	3,179
	生産年齢人口	16,733	15,583	14,223	16,733	15,583	14,223	16,733	15,583	14,223
城山町	23,344	23,582	23,519	23,344	23,582	23,519	23,344	23,582	23,519	
	年少人口	1,273	951	767	1,273	951	767	1,273	951	767
	生産年齢人口	7,038	6,204	5,264	7,038	6,204	5,264	7,038	6,204	5,264
藤野町	10,778	9,767	8,841	10,778	9,767	8,841	10,778	9,767	8,841	
	年少人口	2,454	2,612	2,810	2,454	2,612	2,810	2,454	2,612	2,810
	生産年齢人口	8,324	7,155	6,031	8,324	7,155	6,031	8,324	7,155	6,031

(注) (各年1月1日現在)

平成17年の相模原市の人口には旧津久井町及び旧相模湖町の人口を含む。
参考 平成17年国勢調査速報値(10月1日現在) 701,568人(1市2町合計)

人口の推移(1市2町)

